

ハザードマップの使い方
How to use Hazard Map
Como usar o mapa das áreas de risco
Forma de utilizar el mapa de riesgo
ハザードマップは、水害や土砂災害に備えて、避難行動や情報の入手先等を示したものです。いざという時のために、家族や近所等で平時より話し合い、災害に備えておきましょう。
The Hazard Map shows evacuation behavior and information sources in case of flood and sediment disaster. Prepare for a disaster by discussing urgent actions with your family and neighbors in peacetime.
O mapa de áreas de risco de inundação e deslizamento de terra indica o procedimento para a evacuação fornecendo informações. Converse com familiares e vizinhos sobre prevenção e deixar material preparado para caso de emergência.
El mapa de las zonas de riesgo, muestran acciones de evacuación y fuentes de información por Inundaciones y Deslizamiento de tierra. Para caso de emergencia, converse con su familia y vecinos más de lo habitual y prepárese para los desastres.
ステップ① 自宅の位置や指定避難所等を
確認しましょう。
ステップ② 家族や近所等で大雨の時に危険な場所や
安全な避難場所について、話し合みましょう。
ステップ③ 危険な場所を避けて、避難経路を設定し、
実際に歩いてみて、安全を確認しましょう。
ステップ④ 災害時の対応を話し合しましょう。
ステップ⑤ 非常持ち出し品を準備しましょう。
ステップ⑥ マイタイムラインを作らしましょう

災害情報・避難情報について

大雨時の行動タイムライン
災害が発生するおそれが高まった時に、5段階の警戒レベルが発表されます。愛川町から警戒レベルに応じた避難情報を発令します。みなさんは、警戒レベルに応じた行動をしてみてください。
段階的に発表される気象庁等の情報・避難情報と住民のとるべき行動
警戒レベル 1: 大雨の数日～約1日前
警戒レベル 2: 大雨の発端～数時間前
警戒レベル 3: 大雨の数時間～2時間程度前
警戒レベル 4: 数十分～数時間前
警戒レベル 5: 数十年に一度の大雨
気象庁等の情報: 早期注意情報(警戒級の可能性)、大雨注意報(洪水注意報)、大雨警報(洪水警報)、大雨特別警報
町の発令する避難情報: 避難指示
住民のみなさんがとるべき行動: 災害への心構えを高める、自らの避難行動を確認、危険な場所から高齢者等は避難、命の危険直ちに安全確保!

河川に関する情報を確認しましう
相模川、中津川では、県と気象庁から共同で、洪水予報が発表されます。気象庁のキキル川や川の防災情報、県の水位情報を確認できます。
Table with columns: 洪水予報で発表される情報, 発表基準, とるべき行動・水位の状況, 相模川(上流部), 中津川(平山部), 中津川(下流部)

情報収集について

大雨や洪水に関する注意報・警戒
大雨や洪水に関する注意報・警戒
大雨・洪水注意報: 災害が発生するおそれがある
大雨・洪水警報: 重大な災害が発生するおそれがある
大雨特別警戒: 警戒よりもはるかに高い危険度
その他の気象情報: 土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報
早期の立退き避難が必要な区域: 洪水時に家屋が倒壊するおそれのある氾濫想定区域、浸水深3.0m以上になる区域、土砂災害警戒区域内

情報伝達の流れ



情報の入手先
防災情報は、様々な方法で入手できます。自ら積極的に情報を入手しましょう。
愛川町からの防災情報: 防災行政無線(音声自動応答サービス)、あいかわ防災情報メール、愛川町ホームページ、愛川町公式ツイッター、愛川町LINE公式アカウント、エフエムさがみ(FM HOT83.9)・J.COM、t vk(テレビ神奈川) データ放送
その他の機関の防災情報: 国土交通省川の防災情報、神奈川県災害情報ポータル、神奈川県雨量水位情報、神奈川県土砂災害警戒情報システム、気象庁キキル(愛川町)

避難の心得について

避難の心得
いざという時のために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、正確な情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。
● 状況により、すばやく避難
● 家族には連絡メモを残そう
● わが家の防災メモを持とう
● 集団で助け合おう
● 車での避難は控えて
● 安全なルートで避難
● 非常持ち出し品は最小限に
● 指定避難所等では指示に従いましょう

浸水や洪水について

浸水や洪水について
大雨が降ると河川等から水があふれます。浸水や洪水の発生メカニズムを知っておきましょう。
内水氾濫: 雨水による浸水(内水氾濫)
外水氾濫: 大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。
内水氾濫の発生、外水氾濫の発生

ダム情報入手先
● 宮ヶ瀬ダム、城山ダム
https://kanagawa-dam.jp/web_data/genkyo_kokai/mizugame_h.html

雨の強さや降り方と災害の危険性

下の表は、雨の強さや降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難指示が出る前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。
Table with columns: やや強い雨(10~20mm), 強い雨(20~30mm), 激しい雨(30~50mm), 非常に激しい雨(50~80mm), 猛烈な雨(80mm~)
Rows: 1時間雨量と予報用語, 人の受けイメージ, 災害の危険性

土砂災害について

土砂災害について
土砂災害の種類と前兆現象
大雨や台風、地震によって、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害が引き起こされる可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難してください。
がけ崩れ、土石流、地すべり
土砂災害の前ぶれ(前兆現象)
五感: 移動主体、視、嗅覚(音)、嗅覚(におい)
● 土砂災害警戒区域とは?
● 土砂災害特別警戒区域

伝言ダイヤル・日ごろからの備え

災害用伝言ダイヤル
● 災害用伝言ダイヤル「171」(NTT東日本)
安否確認や避難している場所を音声で伝言することができます。
利用方法: 171にダイヤル → 録音の場合1 → 再生の場合2
● 災害用伝言板(携帯電話会社)
携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます。
NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク

非常持ち出し品(例)
飲料水、食料(缶、チョコレート等)、予備のメガネ・コンタクトレンズ、懐中電灯、携帯ラジオ、靴、軍手、筆記用具・ノート、下着・くつした、生理用品、雨具、タオル、毛布又は寝袋、貴重品(現金、保険証等)、ティッシュペーパー・トイレットペーパー、医薬品・常備薬、ヘルメット、リュックサック
● ローリングストック
備蓄食料・飲料水等の保存期間が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。

集合場所
家族の連絡先
氏名、電話番号、メールアドレス